

『教え』を学び 正道を行く』

神 示

運命実体 心で回る この世の姿を知って

「真理」に生きる人を目指す

悔いなき人生を歩み抜く極意と申す

なれど 運命に重なる心の姿を知らず

努力と経験に生きる人が多い

自ら「道」欠き 外し

病気 事故・災難を呼び込んでいる

信者は 家族で「教え」を学び

「真理」で関わる家庭を築く心がほしい

この思いが 信者の人生を「正道」へと導き

運命に重なる心の動きを引き出す

なぜ これほど大きく社会の姿が変わり 流れているのか

分かるかや

この世は 神の手中

「正道」へ向かって 常に流れている

一時 人は

社会の姿に理想を掲げ 導けると思いを抱いた

人類の希望は 真理なき知識に翻弄されて

「邪道」へと向かう

今日 時代の力が

人類の希望を「正道」へと導いている

この真実「真理」を知って

信者は「教え」に生きる心が必要

この思いを強く持つほど

「人生」は 時代の流れに乗って 「希望の光」をゆく

真実、不実が混じる現代だからこそ、神が使者を通して示される教えから、その時々に必要な心の在り方をつかみ、人としての正しい道、正道を歩む信念が大切です。神が言われる正道とは、法の順守などうわべではなく、自分の運命に重なる心の動き、生き方をする事です。

この世は、心で回っています。その心の動きは、運命実体から生まれます。運命は、神から与えられた世に役立つ力であり、良いものです。実体は、親、先祖から受け継いだ気質、体質など、良いものと悪いものがあります。ですから、神の教えを基に悪い実体を修正し、運命に沿って生きられるように努めるのです。一度限りの人生を悔いのないものとする極意が、ここにあります。

しかし、現実には、自分の運命の力をどうすれば引き出せるのかが分からず、努力や経験にばかり頼って生きる人が多いのです。自分の分、器が見えず、人の言葉や情報に惑い、欲心に流されれば、与えられた運命の枠から外れて、自ら災いを招いてしまいます。

同じ実体を受け継ぎ、運命を磨き合うのが家族です。ですから、家族で教えを学び、道理にかなう生き方ができるように努める必要があります。似た性格傾向がある家族は、共に教えを身に付けないと、その家の実体を修正できず、運命の力を引き出せないのです。

社会は今、大きく姿を変えつつあります。従来の知識では対応しきれない現実も、多数生じています。それは、違う方向に進んだ社会を正道へ戻すため、神の手中で流れを変えているのです。この現実には気が付けないと、根拠のない知識に翻弄されてしまいます。次々と変化する人の考えに惑わされ、正道から外れかねません。

今は、世界の人々の心が正しい方向へ向くように、時代の運命の力が働いています。この事実を知り、教えに沿って生きられるように努めましょう。その思いを強く持つほど、時代の流れに乗り、自分の運命が光る人生が歩めるのです。

『教え』を学び 正道を行く』

神 示

なぜ 今^{今日} 社会は大きく流れを変えているのか

その真実に気付くべし

この真実を気付けぬために

多くの人^{人々}が 心不安に迷い

自ら悩みを深めている

信者に申す

人類が知り 築いた知識は

真理の一部にすぎない

社会は 虚実を尽くし

不実な姿にのまれてきた

今^{今日}こそ 信者は 「教え」に悟りを深め

「真理」を「人生」の支えに生きる時^{時代}

「希望の光^{みち}」が通り

「運命」の力が人生を 「正道」へと導き 守る

人類の歴史 社会の文化 文明の真実を

見詰めてごらん

いかに「真理」が薄く 一貫した流れに欠けているか

見えてくる

運命実体が互いに重なり 補い合う この世の仕組みに

人類は逆らえない

神は 真理を社会に示し 「正道」を教えている

その真実「真理」に気付き 悟りを深める人^{人々}は

必ず「希望の光^{みち}」に心守られ 救われる

今^{今日} 社会は 大きく流れを変える

「正道」へと導く 時代^{運命}の力が働いている

今、社会は、流れを大きく変えています。それは、世界の動向を見ても、確かな事実と考えるでしょう。

何事も人の力でどうにかなると思っていたものが、そこには限界があると、多くの人々が気付き始めています。ところが、そこに気付けないと、従来の考えのまま、知識や情報に頼って、迷いに陥り、自ら悩みを深めています。

そもそも、人類が多くの経験から気づき、積み重ねてきた知識など、自然の摂理、この世の仕組みからすれば、ごく一部にすぎません。しかも、虚実が混在して、理にかなうものを識別できず、流れにのまれてきた現実があります。

だからこそ、神から教えを学んで人格に取り入れ、道理に沿う生き方を心掛けるのです。神の教え、神、仏、人の道を守って生きれば、希望の光^{みち}が通ります。すなわち、運命の力が引き出され、正道を歩む人生が送れます。

これまでの人類の歴史、文化、文明などを見詰めると、時間の経緯の中で見解が変わった現実も、数多くあります。いかに真理、道理が薄く、一貫していないかが見えるはずです。

運命実体が重なり、補い合って回るのがこの世の仕組みであり、その真理には逆らえません。ですから、実体を修正して、運命の力を引き出していくのです。

神は、神示をもって世に真理を示し、人として生きる正道を教えてください。祈願とともに自分のものにできれば、心の動きが導かれ、必ず救われていきます。それが、希望の光^{みち}に守られる姿です。

社会が大きく流れを変えている現在です。その中で、この世の仕組みに沿い、自身の力を大いに發揮しようと奉仕の心で生きたなら、時代の運命の力と重なって、必ず正道を歩んでいきます。

正道とは、与えられた運命どおりに自分らしく、世に役立つ生き方をする事です。教えの実践に努めれば、必ず持つて生まれた良さが引き出され、生きがいあふれる毎日が送れるのです。